

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日  
令和3年7月26日（月）

2 確認箇所  
4号機タービン建屋東側

3 確認項目  
不明物品の保管状況

### 4 確認結果の概要

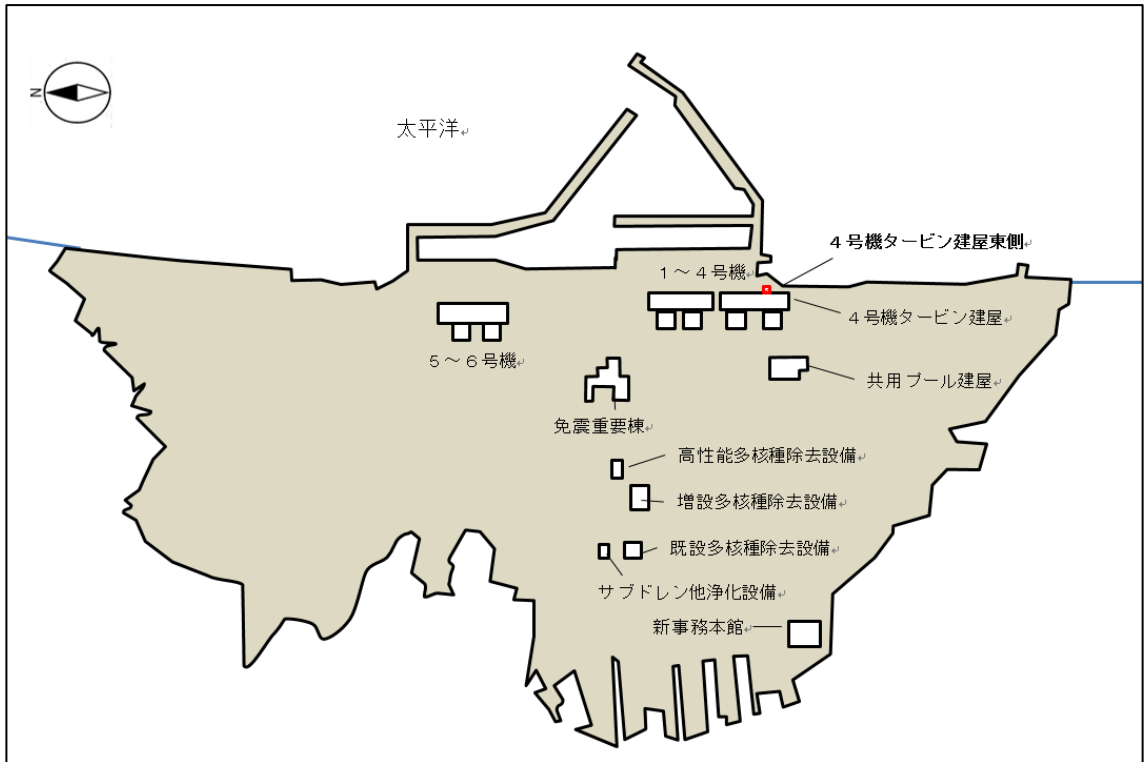
本年3月に旧研修棟東側で管理が不十分なコンテナが確認<sup>※1</sup>されたことを受け、東京電力では、敷地内に保管されている物品について5月から調査を進めており、所定の表記が付されていないなど管理<sup>※2</sup>が不十分なものを803箇所を確認した。

このうち、4号機タービン建屋東側では、表面線量率が最大で毎時10ミリシーベルトのフレコンバッグ等の高線量物品が確認されたことから、保管状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・4号機タービン建屋に近接する2箇所にシート養生及び遮へい材が設置された状態で物品が保管されていた。また、目視確認した範囲で内容物の飛散等は見られなかった。（写真2）
- ・養生シートの上には、物品付近の線量当量率及び高線量エリアである旨の注意書きが掲示されていた。（写真3）
- ・東京電力によれば、速やかに計画を立案し、物品の処理・片付け等を実施していくとしている。

※1 令和3年3月2日に物揚場排水路から放射性物質が流出したことの現場確認で、旧研修棟東側で管理が不十分なまま放置されているコンテナ4基が確認された事案。

※2 福島第一原子力発電所では、資機材等の物品を保管する場合、所有箇所及び物品名称等を表記しており、エリア毎に定められた管理者がパトロールを行い、表記の管理状態が不十分な場合は是正措置を講じている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
4号機タービン建屋東側の状況①



(写真1-2)  
4号機タービン建屋東側の状況②



(写真2)  
物品の保管状況



(写真3)

物品の表示の状況

(表示には線量当量率及び高線量エリアである旨が記載)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。